

キャンパスライフをプチ体験「大学探検」

本単元で育成する資質・能力

情報活用能力・発見力・思考力・表現力・将来設計能力
人間関係形成能力・生活力

- 1 日時 平成28年6月6日(月)～6月21日(火)
- 2 学年 2学年(男子28人 女子32人 計60人)
- 3 単元名 キャンパスライフをプチ体験「大学探検」(自分探しの旅)
- 4 本単元を指導するにあたって

本単元では、まず生徒が訪問する大学でどのようなことが学べ、それらが職業選択など将来の生き方につながるかについて事前学習を行う。その後、実際に大学を訪問し、教授や学生から直接話を聞くことで、大学生活について学ぶ。そして集めた情報を基に「大学探検新聞」を作り、発表するという単元である。

また、本学年の生徒は「基礎講座」のマナー講習で、相手意識をもったあいさつや質問の仕方、新聞記者から情報の収集方法や記事のまとめ方、パソコン講習でワープロソフトの使い方等を学んでいる。学生や教授と礼儀正しくコミュニケーションをとったり、見学後に各班で「大学探検新聞」をつくるために必要な情報は何かを意識して話を聞いたり、読みやすい新聞作りのためにどんな記事を書くのか考えたりすることで、これまで学んだことを生かせる単元でもある。

本学年の生徒は、昨年度「自分探しの旅」学習として「高校訪問」や職業調べをし、自分の進路や将来の職業について考えてきた。その中で、多くの生徒が自分の希望する仕事に就くためには大学で専門的な知識を得、資格を取る必要があることを知ることができた。しかし、2学年に進級し、学校生活に慣れたことで少し学習への緊張感が低下し、授業に取り組む姿勢や家庭学習への態度に課題が見られる生徒も増えてきた。そのような中、整った施設で将来の夢を実現するために充実した学生生活を送っている学生たちの話を聞くことで、上級学校への憧れや、高校卒業後の自分の進路についてビジョンをもたせ、自分自身の生き方を考えさせたい。

なお、新聞のテーマを各班で決めさせることで、自分たちの記事に必要な情報は何かを生徒自らが考えて質問したり、写真を撮ったりし、新聞の構成も生徒に任せることで、読み手に伝わる新聞になるかを生徒自らが考えてアレンジするといった主体的な姿勢につなげていく。

5 単元の目標

- ・ 大学について知り、自分自身を見つめ、将来の生き方について考えることができる。
- ・ 仲間と協力して、大学生にインタビューをし、必要な情報を得ることができる。
- ・ 得た情報を基にわかりやすくまとめ、表現することができる。

6 本単元において育成しようとする資質・能力(9能力)と評価規準

評価観点	ア 学習方法に関すること	イ 自分自身に関すること	ウ 他者や社会とのかかわりに関すること
評価規準	①大学についての情報を得、質問内容を考え、集めた情報をまとめに生かしている。 【情報活用能力】 ②大学について既有知識を分析し、さらに調べる際の課題を明らかにしている。 【発見力】 ③学んだことを仲間に分かりやすく伝えている。【表現力】 ④大学訪問等で学んだことと既有の知識を関連付けたり意味付けたりして考えている。 【思考力】	⑤自分の将来の進路について考えることができる。 【将来設計能力】	⑥マナーを意識して学生と交流したり、仲間と協力して新聞を作ったりすることができる。 【人間関係形成能力】 ⑦基礎講座で学んだことを生かすことができ、本単元で学習したことを生活に結び付けることができる。 【生活力】

7 指導と評価の計画（全10時間）

次 (時数)	学習内容	評価
		資質・能力と評価規準 (評価方法)
1次 (2)	課題の設定 ○大学のイメージや大学に行くメリットを考え、実際はどうかを直接聞いて調査をしたいという意欲をもつ。 ○大学のパンフレットを読んで、必要な情報を獲得する。 ○大学に対する疑問点を挙げていく。	ア①【情報活用能力】 ア②【発見力】 (活動の様子) (ワークシート)
2次 (4)	情報の収集 ○実際に大学に訪問し、教授や大学生から必要な情報を得る。 ○マナー講座で学んだ事を生かし、礼儀正しく学生や大学教授に接する。	ア①【情報活用能力】 ウ⑥【人間関係形成能力】 ウ⑦【生活力】 (活動の様子)
3次 (2)	整理・分析 まとめ・創造 ○自分たちが集めた情報を取捨選択する。 ○ワープロソフトを使って、一人ひとりが新聞記事にまとめる。 ○読み手がわかりやすい新聞にするため写真やグラフをどう使うか考えてまとめる。	ア①【情報活用能力】 ア④【思考力】 (それぞれの記事)
4次 (1)	表現 ○まとめた新聞を持って、他の班のメンバーと交流する。 ○相手に伝わることを意識して話す。	ア③【表現力】 (活動の様子)
5次 (1)	振り返り ○塩中タイムで、学びを振り返る。 ○互いに交流することで、学びと伸びについて、自覚する。 (相互評価, 自己評価)	イ⑤【将来設計能力】 (感想文, 塩中ノート)

8 単元の学習展開

(1) 第1次（1・2時間目）の展開

- 本時の目標
 - ・「大学探検」に興味をもち、修道大学のパンフレットやインターネットなどから情報を得ることができる。
 - ・自分たちの挙げた疑問点、解決したい課題をもとに新聞のテーマを決めることができる。
- 本時の評価規準
 - ア①大学についての情報を様々な方法で得ようとしている。 【情報活用能力】
 - ア②大学探検に向けて目的や課題を明らかにしようとしている。 【発見力】

学習活動	指導上の留意事項(○) 予想される生徒の意見(☆)	評価規準 (評価方法)
1. 大学について知っていることを挙げる。	○大学進学率(56.7%)を示す。 ○なぜ半分以上の高校生が大学へ進学するのか考えさせる。 ☆専門的な知識を得られる。 ☆資格が取れる。 ☆就職に有利 ☆自分の興味があることが学べる。 ☆バイトができる。 ☆いろんな出会いがある	ア② 【発見力】 (ワークシート)

<p>2. 調査する方法を考える。</p> <p>3. 調査を開始し、分かったことや疑問点を出し合う。</p>	<p>○大学や学生の実態について調べるためにはどうすればいいのだろう。</p> <p>☆インターネットで調べる ☆パンフレットを読む ☆学生に聞く ☆大学を卒業した人に聞く</p> <p>○パンフレットやインターネットで情報を集めさせる。</p> <p>○先生たちを「卒業した人」として取材させる。</p> <p>○直接聞かないと分からないことは何か、現地に行って調べる必要性を感じさせる。</p>	<p>ア①【情報活用能力】 (活動の様子)</p>
<p>大学について調べたいことを話し合い、みんなが読みたい新聞にするための内容を考えよう。</p>		
<p>4. 自分の班の新聞のテーマを考える。</p> <p>5. 大学訪問の準備をする。</p>	<p>○どんなテーマで新聞を作るのか、話し合おう。</p> <p>☆大学へ行くメリットを伝える新聞 ☆修道大学の魅力を伝える新聞 ☆大学生の実態を伝える新聞 ☆受験勉強のアドバイスを伝える新聞 ☆学生の楽しみを伝える新聞</p> <p>○教授と学生、両方への質問の両方を作らせる。</p> <p>○必要ならアンケート用紙やメモ用紙を作成することをアドバイスする。</p> <p>○実際の場面を想定し、失礼のないように質問できるか、シミュレーションをさせる。</p>	

(2) 第2次(3・4・5・6時間目)の展開

- 本時の目標
 - ・大学を訪問し、職員、教授、学生から必要な情報を集めることができる。
 - ・基礎講座で学んだ事を生かそうとしている。
- 本時の評価規準
 - ア①大学についての情報を得ようとしている。 【情報活用能力】
 - ウ⑥マナーを意識して学生と交流することができている。 【人間関係形成能力】
 - ウ⑦マナー講座で習得した技術を活用してインタビューすることができている。 【生活力】

学習活動	指導上の留意事項(○)	評価規準(評価方法)
<p>1. 本日のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教授や学生に礼儀正しく話を聞き、新聞づくりに必要な情報を集めよう。</p>		
<p>2. 修道大学についての説明を受ける。</p> <p>3. 各グループに分かれた際に担当学生に礼儀正しく挨拶をして見学を行う。</p> <p>4. 疑問に思ったことを質問する。</p> <p>5. 学食での昼食時間や休憩時間を利用</p>	<p>○大切な情報はメモを取りながら話を聞くことを指導する。</p> <p>○新聞に必要な情報は何かを常に意識して写真を撮ることをアドバイスする。</p> <p>○事前に準備した質問だけでなく、その時疑問</p>	<p>ア①【情報活用能力】</p> <p>ウ⑥⑦【人間関係形成能力】 【生活力】 (活動の様子)</p>

して学生にインタビューをする。	に思ったことを積極的に質問するよう促す。	
6. 模擬講義を受ける。	○積極的に話しかけている生徒の姿を評価する。	
7. お世話になった職員や学生に全員でお礼を言う。	○質問するつもりで講義を受ける心構えをつくる。 ○メモを取りながら講義を受けるよう声掛けをする。 ○お礼の言い方等の確認をする。	

(3) 第3次(7・8時間目)の展開

- 本時の目標
 - ・集めた情報を取捨選択し、パソコンのワープロソフト機能を使って記事を書くことができる。
 - ・必要な写真やグラフは何か考えながら編集することができる。

○ 本時の評価規準

- ア①収集した情報をまとめて生かしている。 【情報活用能力】
- ア④大学訪問等で学んだことと既存の知識を関連付けたり意味付けたりして考えている。 【思考力】

学習活動	指導上の留意事項(○)	評価規準(評価方法)
1. 本日のめあてを確認する。 集めた情報を整理し、分かりやすい新聞になるように考えながらまとめよう。		
2. 各班で自分たちの集めた情報を共有し、テーマにそった情報を選択していく。	○撮った写真も使う数を制限し、写真ばかりにならないように気を付けさせる。	ア①④【情報活用能力】【思考力】 (活動の様子) (それぞれの記事)
3. 役割分担をし、各自記事を書く。	○文字の形や大きさなどがばらばらにならないようにアドバイスをする。	
4. 各自が書いた記事を1枚の新聞に集め構成を考える。	○グラフを使う生徒への指導をする。	
5. プリントアウトをした新聞をメンバーで確認し、必要があれば再度編集する。	○写真、グラフの大きさ、色の使い方、統一感、文字の重なりなども点検するようアドバイスを	
	○写真、グラフの大きさ、色の使い方、統一感、文字の重なりなども点検するようアドバイスを	

(4) 第4次(9時間目)の展開

- 本時の目標
 - ・各班の新聞のテーマや調べた内容を相手に分かりやすく説明し、互いの良さを学ぶ。
- 本時の評価規準
 - ア③学んだ事を仲間にわかりやすく伝えている。 【表現力】

学習活動	指導上の留意事項(○) 予想される生徒の反応(☆)	評価規準(評価方法)
1. 本日のめあてを確認する。 それぞれの新聞を持ち寄り、他の班のメンバーに自分たちがまとめた内容を伝えよう。		
2. 各自が自分の班の新聞をもらう。	○再度、自分の班の新聞の内容や、工夫したところ、苦労したところ、体験後の感想が発表できるように時間を取る。	

3. 各班から一人ずつ集まり、新しいグループを作り、自分の班の新聞について説明する。	○声の大きさや新聞の持ち方等相手意識をもって話すようアドバイスする。	ア③ 【表現力】 (活動の様子)
4. 良かったところや課題を出し合う。	○必ず良い点や課題点が見つけられるよう、意識して話を聞くように指示する。 ☆グラフがあって分かりやすい。 ☆見出しの言葉が効果的である。 ☆もう少し字が大きい方がいい。 ☆空欄に写真やイラストがあるといい。	
5. 各班に戻って、他の班からほめられたところや改善点などを報告し合う。	○新たな課題への意識をもたせる。	
6. 振り返りをする。	○「塩中カード」に今回の活動を通して学んだ事や考えたこと等の振り返りを書かせる。	

(5) 第5次(10時間目)の展開

- 本時の目標
 - ・本単元の学習活動を通して自分が伸ばした力を振り返る。
- 本時の評価規準
 - イ⑤本単元での学びや伸びについて自覚するとともに、自分の生活や将来と結びつけて考えることができる。 【将来設計能力】

学習活動	指導上の留意事項(○)	評価規準 (評価方法)
1. 本日のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大学探検と新聞づくりで伸ばした力を振り返ろう。</div>		
2. 写真を見ながら活動を振り返る。 3. 塩中ノートの自分が伸ばしたと思う能力のページに「塩中カード」を貼り、その理由を書き加える。 4. 他の生徒が伸びたと感じる力と理由を聞き、自分の意見と比較する。	○電子黒板で写真を表示して、学習を思い出させる。 ○伸びたと感じる能力カードの下に各自のネームカードを貼るよう指示する。 ○それぞれの能力から2名程度指名して意見交流をはかる。 ☆たくさんの情報から選んで新聞を作ったので、「情報活用能力」が伸びた。 ☆どんな新聞にするのかしっかり考えて作ったので、「思考力」が伸びた。 ☆学生さんとのコミュニケーションを積極的にとることを意識したので「人間関係形成能力」が伸びた。 ☆これまで考えていなかった大学進学を考えるようになったので「将来設計能力」が伸びた。	

<p>5. 必要なら「塩中カード」を追加して貼る。</p> <p>6. 大学探検で伸ばした力とこれまでの学習、これからの学習とのつながりを考える。</p> <p>7. 「塩中ノート」に自分の力の今後の生かし方を書き込む。</p>	<p>○他の生徒の意見を聞いて、自らが伸ばした力に気付いた生徒は、「塩中カード」を増やすことを指示する。</p> <p>○生徒が伸びたと感じたすべての能力のカードをホワイトボードに貼り、これらの力をつけてきた全ての学習活動を生徒に考えさせる。</p> <p>☆「情報活用能力」←英語のスピーチ、社会科のレポート、体育のレポート</p> <p>☆「人間関係形成能力」←「総合」のマナー講座、各教科の班活動</p> <p>☆「将来設計能力」←「総合」の高校訪問・職業調べ</p> <p>☆「思考力」←国語の文章を書く力・社会科の新聞づくり</p> <p>○それらの力がどんな場面で生きていくのか話し合わせる</p> <p>☆「情報活用能力」⇒「総合」の調査・研究</p> <p>☆「人間関係形成能力」⇒職場体験・修学旅行・各教科の班活動</p> <p>☆「将来設計能力」⇒全ての教科の勉強・受験勉強・進路学習</p> <p>☆「思考力」⇒国語の作文、各教科のレポート</p> <p>○各自の「塩中カード」の近くに自分の力を今後何に生かそうとしているのかを書くように指示する。</p>	<p>イ⑤【将来設計能力】 (活動の様子) (塩中ノート)</p>
--	---	---